

2025 年 7 月 11 日

各関係機関の長 殿

国立大学法人東北大学
大学院国際文化研究科長 劉 庭秀
(公印省略)

教員の公募について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究科では、国際文化研究専攻現代日本メディア・ジェンダー研究講座の教員を下記により公募することになりました。

つきましては、ご多用中のところ誠に恐縮ですが、貴職関係方面へ周知方よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職種・人員 准教授または講師 1 名
2. 専門分野 映像、メディア、文学
3. 担当科目 地域文化研究系の系共通科目、講座関連の大学院授業科目（講義および演習等）、全学教育科目
4. 応募資格
 - (1) 本研究科において、教育・研究に従事する資格があると認められる者で、博士の学位を持ち、准教授にあつては、大学における准教授、講師、助教又は助手としての教育経験年数 3 年以上であることを要し、講師にあつては、大学における講師、助教又は助手としての教育経験年数 1 年以上であることを要する。ただし、他の条件において特に優れている場合にあっては上記の年数を短縮することができる。
 - (2) 専門分野は、映像・メディア・文学とし、この研究領域において十分な実績があると認められる者であること。また、日本の映像・メディア・文学を対象とし、日本との国際比較研究がおこなえる者であること。ジェンダーの視点を組み込んだ業績を有するか、その意欲があることが望ましい。
 - (3) 本研究科現代日本メディア・ジェンダー研究講座の准教授又は講師として、地域文化研究系の系共通科目や、講座関連の大学院授業科目、および全学教育科目を担当

できる者であること。

- (4) 日本語で講義・学生指導ができる者であること。また、英語で講義ができることが望ましい。国籍は問わない。

5. 雇用形態

- (1) 本人事によって採用された者には裁量労働制を適用する。
- (2) 原則として本研究科が定めるテニュアトラック制度を適用する。
- ・テニュアトラック教員の任期は4年とし、テニュア付与に係る審査は、任期満了の2年前までに実施する。
 - ・特に優れていると認められる場合は、テニュアトラック制によらず任期の定めのない採用とすることもある。
 - ・その他、詳細については総務企画係へお問い合わせください。

6. 採用年月日 2026 年 4 月 1 日

7. 提出書類

- (1) 履歴書 1 部（本学所定の様式、写真添付）
様式は研究科 HP の「教員募集」ページからダウンロードしてください。
<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/faculty-recruitment/>
- (2) 研究業績一覧表 1 部（様式自由）
著書、論文、研究ノート、学会予稿、学会発表、その他報告書等に分け、査読の有無を明記すること。また、当該論文または業績が優れたものであることを示す数値指標（被引用数、ジャーナルのインパクトファクター、FWCI [Field-Weighted Citation Impact] など）があれば、適宜明記すること。
- (3) 研究業績のうち、著書、論文、研究ノート全点（抜刷り、コピーでも可）
- (4) 主要な研究業績 3 点について、研究業績一覧表に○印を付すとともに、それぞれの要旨を日本語で 1,000 字程度にまとめて添付すること。
- (5) 次の 2 点について、それぞれ日本語で A4 版 1 枚程度にまとめた文書
- ①これまでおこなってきた研究の概要と学術的意義および今後の計画など
 - ②これまで従事してきた教育活動について、授業内容や学位論文の指導内容、教育プログラムやカリキュラムの運営および社会連携に関わる経験など
- (6) 大学院授業計画（専門分野に関する講義、全 15 回分を A4 版 1 枚にまとめること）
- (7) 外部資金獲得状況（最近 5 年間）
- (8) 希望者は推薦状を付すことができる。

8. 応募締切 2025 年 9 月 19 日（金）（必着）

9. 選考方法 書類選考後、面接（模擬授業を含む）を実施する予定である。模擬授業の内容は別途通知する。面接に要する交通費は支給しない。

10. 書類提出先

【電子メール】int-som*grp.tohoku.ac.jp（送信時には「*」を「@」に置き換えること）

※提出書類一式をパスワード設定した PDF ファイルにして、上記のメールアドレス宛に送付すること。パスワードは、別途電子メールで知らせること。

※メールの件名は、「応募書類（現代日本メディア・ジェンダー研究講座）」とすること。

※応募書類は原則として返却しない。

11. 問い合わせ先 東北大学大学院国際文化研究科総務企画係

電話 022-795-7541

FAX 022-795-7583

電子メール int-som*grp.tohoku.ac.jp（送信時には「*」を「@」に置き換えること）

東北大学大学院国際文化研究科については、下記のウェブページをご参照ください。

<https://www.intcul.tohoku.ac.jp>

12. その他

- ・東北大学は多様性、公正性、包摂性(Diversity, Equity & Inclusion : DEI)を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>

- ・雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第 8 条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- ・学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学-みんなが主役-多様な性に関するガイドライン」を制定しています。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_minority/

- ・東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園(定員 22 名)及び青葉山みどり保育園(定員 116 名)の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園(定員 120 名)があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。
- ・その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_family/

人事企画部 WEB ページ <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>

- ・育児休業を取得する場合、教育研究の推進上必要と認めるときは、休業期間の範囲内で当該任期を延長することがあります。